

もつと暮らしを
西多摩へ



号外
西多摩版

立憲民主
The Constitutional Democratic Press

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cp-japan.net
https://cdp-japan.jp/

立憲民主党東京都西多摩地区政策委員

宮崎 太郎
みやざき たろう

公式HP



41歳

◎プロフィール／あきる野市在住、日の出町生まれ 41歳。日の出町立本宿小学校・平井中学校卒業。日本大学明誠高等学校・日本大学法学部政治経済学科卒業。国会議員（円より子、谷亮子）公設第一秘書を経て、政策担当秘書。各種政策立案、陳情や要望対応など。一般社団法人日本パソコン能力検定委員会 理事。日の出町サッカー協会顧問。一般社団法人青梅青年会議所 第51代理事長（2018年度）。

国政と都政で連携し、 東京改革に取り組みます！

立憲民主党は、来る7月4日投開票の東京都議会議員選挙において、41歳新人の宮崎太郎政策委員を西多摩選挙区の公認候補として決定しました。

また、10月に任期満了を迎える衆議院議員選挙へ向け、島田幸成総支部長が活動を行っています。

島田幸成総支部長、宮崎太郎政策委員が、国政と都政でタッグを組んで連携しながら、いのちと暮らしを大切にすまっとうな政治の実現を目指して参ります。



スギ・ヒノキを使用した
多摩産材選挙カーで
西多摩全域を回ってます

オリンピック開催よりも、新型コロナ対策の充実を！

小池知事の新型コロナ対応はパフォーマンスばかりで、重要課題であるコロナ病棟を増やすことを始めとした医療体制の充実には真剣に取り組んでいません。

小池知事はコロナ対応に不可欠な都立・公社病院の独立行政法人化をするための予算を編成しましたが、これでは医療体制の充実はできません。また、これまでオリンピック開催を優先させ、コロナ対応が遅れているとも言われています。立憲民主党は今の感染状況が続けばオリンピック開催は不可能とし判断し、大会の中止や延期を訴えています。

今の情勢からすると、今後、都議会において、小池知事は政権与党の自民党や公明党に議会運営を依存することが多くなると予想されます。そうしたときに、国政第一党の立憲民主党を中心に立憲野党が協力し、小池知事に立ち向かう必要があります。宮崎太郎さんにはその先頭に立って、頑張ってもらいたいと思っています。



立憲民主党
東京都第25区総支部長
島田 幸成

宮崎太郎は **立憲野党と協力して** こんな政治を実現します！

政治に失われた信頼を取り戻したい！

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、多く都民が大きな不安を抱えながら生活しています。こうした状況の中、都民のいのちや生活を守り、誰もが安心して暮らせる環境を整えるのが、政治、行政に携わる者の役割だと思っています。東京都は、国と連携しながら他の道府県に先駆けて、独自の施策を推進していくべきと考えます。

西多摩は、コロナ対策、医療、介護、福祉、子育てと教育、自然災害、人口減少と過疎化、商工業不振等、多くの政策課題を抱えています。三多摩格差の解消に努め、西多摩の皆さまが住み続けたい、また、西多摩に移り住みたいと思っただけのような「もっと暮らしやすい街 西多摩へ」の実現を、目指します。

こんな 都政を実現！



① 新型コロナウイルス感染症対策

- 大規模なPCR検査と早期のワクチン接種、医療機関・従事者への支援強化。
- 中小企業、小規模事業者への支援強化、雇用と暮らしを守る政策を推進。

② 医療、障害者・高齢者福祉の充実

- 安心して医療機関を利用できるよう、都立・公社病院の独立行政法人化に反対します。
- 多岐にわたる高齢者支援で、住み慣れた地域で暮らせる地域包括ケアシステムを推進します。

③ 子ども・子育て支援

- 妊娠、出産、子育て、教育において、切れ目のない支援が行われ、安心して子どもを産み、安心して子育てと仕事が両立できる環境整備に取り組みます。
- 給食を教育（食育）の一環とすることで、小・中学校の給食費を無償化します。給食費の徴収事務が無くなることによって、先生や職員の働き方改革にも寄与します。
- ショートステイをはじめとした子どもの預け先の拡充に取り組みます。

④ 公共交通網の整備・拡充を推進します

- 日々の移動、通院、買い物を不自由なく行えるようにするために、乗合タクシー、利用者が事前予約できるデマンド型交通を導入する等、地域の公共交通網を整備し、利用者の利便性を確保します。
- 西多摩地域の広域連携を強化し、各自治体で運行しているコミュニティバスや福祉バスを有効活用できるよう、広域的な公共交通整備を推進します。

⑤ 西多摩の産業振興

- 西多摩の農畜産物、多摩産材などのブランド化を進め、地場産業の育成を推進します。
- 農林業従事者の高齢化による後継者不足に対応するため、新規就農者・就林者の育成、器具等への助成を行います。

⑥ 三多摩格差の検証、解消

- 行政サービスの三多摩格差、特に西多摩格差の検証を進め、格差是正に取り組みます。
- 多摩の産業振興・雇用・地域福祉・医療環境・教育条件向上のため、東京都との定期協議を進めます。

⑦ 東京に安全な空を取り戻す

- 騒音、低空飛行などオスプレイ等の飛行訓練に対する苦情が増えています。西多摩の住民の安全かつ健康に暮らす権利を保障するために、西多摩の空の安全と安心を守ります。
- 横田基地周辺の5市1町（福生市、羽村市、瑞穂町、立川市、昭島市、武蔵村山市）で構成する協議会と連携を図り、日米地位協定の見直しを求めて、国への要請を行います。

連絡先

あきる野事務所

あきる野市秋川4-7-2 TEL.042-595-5041

羽村事務所(立憲25区総支部内)

羽村市五ノ神1-8-6 2F TEL.042-578-9005

HP <https://www.taro.link>

Mail info@taro.link